

平成27年度  
学校関係者評価結果報告

久留米工業技術専門学校

## 1. 学校関係者評価の目的

久留米工業技術専門学校における学校関係者評価は、「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、以下のことを目的として実施するものとする。

- ①自己点検評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己点検評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②学生・卒業生、関係業界、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する方の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

## 2. 学校関係者評価委員の構成

学校教科委員は、以下の人員で構成する。

- ・実務に関する知識・技術・技能について知見のある企業職員 1名
- ・業界団体役員 1名
- ・卒業生 1名
- ・卒業生保護者 1名

## 3. 学校関係者評価の実施方法

平成29年8月1日（火）

専門学校久留米自動車工科大学校 会議室にて実施

学校関係者評価委員には自己点検評価書類を配布、学校側から自己点検に関する概要及び評価結果を説明。教職員との意見交換を通して得られた意見等をまとめる事とした。

## 4. 各項目における学校関係者評価

\*評価表記： 4・・・適切 3・・・ほぼ適切 2・・・やや不適切 1・・・不適切

### ◆学校関係者評価委員コメント

27年度の自己点検評価に対して、評価委員より下記の意見等を頂いた。

- ・自己点検評価資料について事前に評価委員に対してその年度の自己評価の結果、どんな課題があったのかを知らせて欲しい。
- ・校長による授業評価はどのような実施されているのか。
- ・関連分野との連携に係る評価項目があるが具体的にはどう言った分野を指すのか。自動車整備関係又は自動車業界全体を指すのか。
- ・職員の能力開発研修を実施する際の対象はどうしているのか。又、新たな教員の採用などは検討していないのか。
- ・自己点検評価における文書の中で「ステークホルダー」「ポートフォリオ」といった表現が使われている部分があるが、一般の方が公開情報を閲覧される事を考慮すると、言葉そのものに対する補足説明等があっても良いのでは要望があった。

(1) 教育理念・目標

<b>【項目総括】</b> 法人の建学の精神である「人間味豊かな産業人の育成」という教育理念の元、知識・技術だけでなく人間形成教育にも取り組んでいる。又、今後の整備士養成教育を見据え学科改組、校名変更など新たな目標を掲げ人材育成に取り組んでいる。		
<b>【特記事項】</b>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検	学校関係者 評価
学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	4 (適切)	4 (適切)
学校における職業教育の特色は持っているか	4 (適切)	4 (適切)
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 (適切)	4 (適切)
学校の教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生保護者等に周知されているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
学科やコースの教育目標、育成人材像は、それぞれに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 (適切)	4 (適切)

(2) 学校運営

<b>【項目総括】</b> 法人の方針として毎年の事業計画及び3ヵ年実施計画（H27年度は前期最終年）を作成・見直しを実施している。人事に関しても法人内で規定化されおり適正に運営されている。業務効率化の課題として1) 工学部と事務局で学生情報データの共有化 2) 事務局における経理処理の簡素化等が上げられる。		
<b>【特記事項】</b>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検	学校関係者 評価
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 (適切)	4 (適切)
運営組織や意思決定機能は、規程等において明確化されているか	4 (適切)	4 (適切)
運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	4 (適切)	4 (適切)
人事等に関する規定等は整備されているか	4 (適切)	4 (適切)
教育活動等に関する情報公開が適正になされているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
システム化等により業務効率化が図られているか	2 (やや不適切)	2 (やや不適切)

(3) 教育活動

<p><b>【項目総括】</b>            教育内容・カリキュラム編成等については、関連業界と連携した教育編成委員会を開催し改善に努めている。又、学生による授業評価等も実施しその結果は、各教員に開示され、学生指導等に活用されている。教員研修に関しては、実施されているが学校行事の多忙化等から内容の更なる充実が課題となっている</p>		
<p><b>【特記事項】</b></p>		
<p><b>【点検事項】</b></p>	自己点検	学校関係者評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (適切)	4 (適切)
教育理念、育成人材や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間確保は明確化されているか	4 (適切)	4 (適切)
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 (適切)	4 (適切)
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか	4 (適切)	4 (適切)
関係分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4 (適切)	4 (適切)
授業評価の実施・評価体制はあるか	4 (適切)	4 (適切)
成績評価・単位認定、進級・卒業判定基準は明確になっているか	4 (適切)	4 (適切)
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	4 (適切)	4 (適切)
人材育成目標の達成に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 (適切)	4 (適切)
関連分野における業界との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上の取組みがなされているか	4 (適切)	4 (適切)
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)

(4) 学習成果

<b>【項目総括】</b> 学生、校長による授業評価並びに教員相互による授業評価を実施し、学生指導の適切化に勤めている他、テーマを儲け教員研修を実施し生徒への対応力向上に努めている。退学率の低減に関しては、入学直後からの個人面談、保護者による授業参観、独り暮らし学生宅への家庭訪問等取り組んでいるが、退学者減少という結果には繋がらず今後の課題となっている。卒業生の進路調査（就業状況等）に関しても、学校全体としての評価を把握するには、人員・調査時間等の不足により十分と言えない部分がある。		
<b>【特記事項】</b>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検	学校関係者評価
就職率の向上が図られているか	4（適切）	4（適切）
資格取得率の向上が図られているか	4（適切）	4（適切）
退学率の低減が図られているか	4（適切）	4（適切）
卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3（ほぼ適切）	3（ほぼ適切）
卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3（ほぼ適切）	3（ほぼ適切）

(5) 学生支援

<b>【項目総括】</b> 学生の健康管理を担う体制では、常勤の医務担当職員が不在である事が課題であり、法人内の大学医務室との連携を図っているが十分に周知出来ていると言える状況では無く、改善が必要である。課外活動支援についてもカリキュラム上、学生達も活動時間を確保する事が難しい面があり十分に支援出来ている状況ではない。但し今年度末には、車体整備専攻科の学生が教員と協力しトヨタ 86 トレノのレストアに挑戦し新聞等にも取り上げられるなど新たな活動も行われている状況であり今後の支援方法が課題である。		
<b>【特記事項】</b>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検	学校関係者評価
進路に関する支援体制は整備されているか	4（適切）	4（適切）
学生相談に関する体制は整備されているか	4（適切）	4（適切）
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3（ほぼ適切）	3（ほぼ適切）
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2（やや不適切）	2（やや不適切）

課外活動に対する支援体制は整備されているか	2 (やや不適切)	2 (やや不適切)
保護者と適切に連絡しているか	4 (適切)	4 (適切)
卒業生への支援体制はあるか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	4 (適切)	4 (適切)

(6) 教育環境

<b>【項目総括】</b>		
施設設備に関しては実習車両等の入替えが検討課題となっている他、建物の計画的な改修が必要となっている。27年度には7号館・学生寮の耐震改修工事を実施し「安心・安全な学校づくり」に取り組んだ。		
<b>【特記事項】</b>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検	学校関係者評価
施設・設備は教育上の必要性に十分対抗できるように整備されているか	4 (適切)	4 (適切)
学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	4 (適切)	4 (適切)
防災に対する体制は整備されているか	4 (適切)	4 (適切)

(7) 学生募集

<b>【項目総括】</b>		
高校訪問、会場及び校内ガイダンス等への参加なども積極的に行った他、ホームページでの情報発信、オープンキャンパス実施など募集活動に取り組んでいるが目標とする入学生数の確保には至っていない状況である。28年4月より校名を変更すると共に学科改組を行い他校との差別化・競争力の向上を図って行く。		
<b>【特記事項】</b>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検	学校関係者評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4 (適切)	4 (適切)
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 (適切)	4 (適切)
校納金は妥当なものとなっているか	4 (適切)	4 (適切)

(8) 財務

<b>【項目総括】</b> 財政面では債務が無く運営面で基本的には支障は出ていない。しかし入学生数の減少、退学等による在學生数減少といった問題は学校経営に大きな影響与えるものであり、対策が求められる状況である。予算執行等については、監事による期中・期末監査の実施により適切化が図られている。		
<b>【特記事項】</b>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検	学校関係者 評価
中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 (適切)	4 (適切)
財務について会計監査が適切に行われているか	4 (適切)	4 (適切)
財務情報公開の体制整備はできているか	3 (ほぼ適切)	3 (ほぼ適切)

(9) 法令遵守

<b>【項目総括】</b> 法令、設置基準は遵守され適正な学校運営が行われている。個人情報（データ）については、サーバー管理が行われ適正化が図られているが、学校独自の個人情報管理に関する細則（規定等）の整備が課題となっている。		
<b>【特記事項】</b>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検	学校関係者 評価
法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	4 (適切)	4 (適切)
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 (適切)	4 (適切)
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 (適切)	4 (適切)
自己評価結果を公開しているか	4 (適切)	4 (適切)